

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「インフラシステム海外展開に向けた海外のスマートシティ動向に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要およびその対応 有識者：加藤 浩徳氏（東京大学大学院 教授）／松村 茂久氏（関西学院大学 教授）	
（役職は当時のもの）	
意見の概要	意見に対する対応状況
日本企業は海外進出の際に国の関与を期待している傾向があるが、他国の企業は政府の支援を受けていない場合も多いため、他国の企業がどのように海外展開を進めていったのかは調査する価値がある。（加藤教授）	調査対象都市における企業の参入経緯について、政府からの支援があったのかどうかにも着目して調査研究を実施した。
各国の都市に参入している他国の企業が企業単独の努力のみで参入したのか、参入にあたり（企業の）自国政府からの支援があったのかは、本調査において重要な視点となる。（松村教授）	
海外のスマートシティに参入するにあたり、リスク分析として各スマートシティの推進体制、意思決定の仕組み、キーマンを把握することは重要である。（松村教授）	調査対象都市において、事業の推進主体や体制についても着目して調査研究を実施した。
日本のスマートシティ海外展開における競合国には中国、シンガポール、韓国などが挙げられる。（松村教授）	スマートシティ競合国動向の事例として、中国と韓国を取り上げて調査研究を実施した。